

PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S5	岩本俊介	千葉	94 期	115.20	S1	小岩大介	大分	90 期	108.09	S1	佐々木豪	愛媛	109 期	111.32
S5	脇本雄太	福井	94 期	116.47	S1	永澤剛	青森	91 期	108.44	S1	松本貴治	愛媛	111 期	113.42
S5	松浦悠士	広島	98 期	113.70	S1	菅田杏道	宮城	91 期	115.77	S1	小林泰正	群馬	113 期	109.32
S5	郡司浩平	神奈川	99 期	116.91	S1	神山拓弥	栃木	91 期	109.69	S1	森田優弥	埼玉	113 期	111.67
S5	古性優作	大阪	100 期	116.89	S1	宿口陽一	埼玉	91 期	107.53	S1	松井宏佑	神奈川	113 期	113.19
S5	清水裕友	山口	105 期	113.11	S1	和田圭	宮城	92 期	113.37	S1	山田諒	岐阜	113 期	107.0
S5	新山響平	青森	107 期	114.76	S1	三谷将太	奈良	92 期	111.58	S1	福永大智	大阪	113 期	105.43
S5	真杉匠	栃木	113 期	116.00	S1	山田久徳	京都	93 期	112.43	S1	嘉永泰斗	熊本	113 期	115.46
S5	大伏湧也	徳島	119 期	115.21	S1	椎木尾拓哉	和歌山	93 期	104.85	S1	高橋晋也	福島	115 期	100.07
S1	内藤宣彦	秋田	67 期	107.78	S1	片岡迪之	岡山	93 期	104.80	S1	佐々木悠葵	群馬	115 期	110.81
S1	香川雄介	香川	76 期	107.42	S1	須永優太	福島	94 期	107.33	S1	原井博斗	福岡	115 期	105.24
S1	小倉竜二	徳島	77 期	110.88	S1	根田空史	千葉	94 期	108.24	S1	菊池岳仁	長野	117 期	110.38
S1	佐藤慎太郎	福島	78 期	113.78	S1	小原太樹	神奈川	95 期	110.93	S1	寺崎浩平	福井	117 期	119.00
S1	諸橋愛	新潟	79 期	109.91	S1	河端朋之	岡山	95 期	108.26	S1	青野将大	神奈川	117 期	108.19
S1	桑原大志	山口	80 期	109.62	S1	守澤太志	秋田	96 期	112.07	S1	佐々木真也	神奈川	117 期	108.75
S1	荒井崇博	長崎	82 期	115.15	S1	雨谷一樹	栃木	96 期	109.76	S1	山口拳矢	岐阜	117 期	114.21
S1	佐々木雄一	福島	83 期	107.00	S1	松谷秀幸	神奈川	96 期	117.00	S1	石原颯	香川	117 期	110.45
S1	竹内智彦	宮城	84 期	105.20	S1	深谷知広	静岡	96 期	115.85	S1	久田裕也	徳島	117 期	103.30
S1	大槻寛徳	宮城	85 期	108.38	S1	岡崎智哉	大阪	96 期	108.44	S1	伊藤旭	熊本	117 期	108.36
S1	東口善朋	和歌山	85 期	109.77	S1	久米良	徳島	96 期	110.57	S1	松本秀之介	熊本	117 期	104.66
S1	村上博幸	京都	86 期	112.00	S1	武藤龍生	埼玉	98 期	114.18	S1	村田祐樹	富山	121 期	105.22
S1	坂本健太郎	福岡	86 期	101.22	S1	原田研太郎	徳島	98 期	108.32	S1	岸田剛	福井	121 期	106.27
S1	山賀雅仁	千葉	87 期	104.71	S1	和田真久留	神奈川	99 期	111.85	S1	後藤大輝	福岡	121 期	108.00
S1	山田健太郎	千葉	87 期	113.21	S1	恩田淳平	群馬	100 期	107.00	S1	東矢圭吾	熊本	121 期	106.50
S1	岩津裕介	岡山	87 期	111.28	S1	窓場千加頼	京都	100 期	102.84	S2	柏野智典	岡山	88 期	110.29
S1	園田匠	福岡	87 期	110.61	S1	神田紘輔	大阪	100 期	105.44	S2	稲川翔	大阪	90 期	110.04
S1	大森慶一	北海道	88 期	105.68	S1	三谷竜生	奈良	101 期	111.75	S2	渡辺正光	福島	95 期	98.46
S1	佐藤友和	岩手	88 期	108.65	S1	山本伸一	奈良	101 期	105.71	S2	角令央奈	福岡	98 期	100.00
S1	成田和也	福島	88 期	112.71	S1	川口聖二	岐阜	103 期	105.13	S2	金子幸央	栃木	101 期	106.42
S1	山崎芳仁	福島	88 期	106.55	S1	谷口達平	三重	103 期	106.50	S2	堀内俊介	神奈川	107 期	103.54
S1	南修二	大阪	88 期	117.91	S1	岡本総	愛知	105 期	109.74	S2	中			

プロスポーツ

寛仁親王牌・世界選手権記念 号外版

イチ押し!

記者の



小山 記者



渡部幸訓



末木浩二

末木浩二は高松宮記念杯で初めてG1の決勝に進出。続く地元戦の弥彦記念では見事に優勝。これが初の記念Vになった。

「結果が出ているのは強い自力選手の後ろを回らせてもらっているからなんですけど、人の後ろについたことで自分でやる時にも勉強になっています」と総合力がアップ。直前の松阪記念では通算200勝の節目の勝利を含め2勝を挙げ「ダッシュ練習を取り入れたことで踏み出しに余裕をもてるようになった。寛仁親王牌は地元地区ですし、しっかり練習したい」といいリズムで参戦できそう。

弥彦で行われた寛仁親王牌では2年連続で決勝に進出している渡部幸訓。舞台は違えど、相性のいい大会だけに注目したい。

直前の松阪記念は②①③②着ですべて確定板入り。初日特選は豪華メンバーとの対戦も新山響平の番手から2着に抜け出す。「響平の後ろでいつもより楽だった」としっかり戦えたことは自信につながるだろう。「悪い時よりは戻ってきた。さらに上積みをして」G1に挑む。



竹内 記者



原田研太郎



園田匠

京王閣記念、松阪記念を経て3場所連続のグレードレース。9車立てでこそ光る園田匠が、理想のローテーションで思い出の寛仁親王牌に挑む。

「記念をたくさん走らせてもらえることは、プラスしかない。強い選手と走らないと話にならないし、学ぶことも多い」

自身がバロメーターとしている3連対も、直近の8走で5度の確定板入りと自信を深める要因だ。バンクは違えど、15年初戴冠を果たした寛仁親王牌。短走路でも園田の差し脚にはひかれる。

変わり身を見せた原田研太郎。松阪記念の最終日にはカマした南関勢の4番手に飛び付いて、再度仕掛けてラインの桑原大志とワンツー。流れに順応した。

「初日が終わって山形（二気）さんに競輪してくれて言われて、それがこたえました。G1でも爪あとを残したい」

19年の松戸での日本選手権をはじめ、33バンクでは3度のビッグ優出を果たしている。まくりが主戦法の原田は短走路でも、思いのほか苦にしていない。



細川 記者



和田健太郎



岸田剛

22年にデビューして24年3月にS級に特進を果たした岸田剛は、今年5月の全日本プロ選手権のチームスプリントで優勝して初めてG1出場権をつかみ取った。8月に行われた富山記念の準決ではS班の犬伏湧也にまくられることなく初めてG3決勝へと勝ち上がった。スピード持久力は競走得点以上のものがあり、先手有利なドームの短走路で臆することなく攻め切れれば、波乱を演出も可能だ。勢いに乗る近畿地区の新たな大砲として名前を売る。

8月の富山記念から9月の奈良で2日間だけ使って寝かせていた新車を投入してセッティングを煮詰め直した和田健太郎。京王閣記念では初日以外、楽な展開ではない中でもコースを探して突っ込みオール確定板入り。徐々に体と自転車にマッチしてきている印象で、本番までにさらに上積みできれば好勝負が可能だろう。親王牌は相性の良い大会で、過去に2回決勝に進出している。南関地区の豊富な機動型を巧みにリードしながら3度目の決勝進出を目指す。



権田 記者



武藤龍生



小林泰正

小林泰正の通算3度目のG1優出に期待したい。共同通信社杯の前には、眞杉匠と浅井康太のもとに出稽古に行くなど、来たる日々に備えてトレーニングに励んでいる。

「最終日も、しっかり前に出て勝負ができた。内容を意識してというレースをしていかないと」と、共同通信社杯で振り返っていたように、内容に重きをおいた走りが目を引く。直近は共同通信社杯、奈良の向日町記念の8走で、5度の最終バックを奪取。この積極性が、ホームの前橋で生きてくるだろう。

共同通信社杯での落車の影響が思っていたよりも大きかった武藤龍生だが、その後は大宮、松阪記念でソツなく優出した。

「付いていく分には問題ないけど、落車のダメージが大きくて力が入らない。ただ、キツカケがあれば、すぐに上がってきそう」

松阪記念の二次予選で勝ち星を挙げ、こう言っていた武藤は、準決では「今日は余裕を持てた。少し上がっている」と好感触だった。上昇カーブで大一番を迎える。